

あ い さ つ

本年度の県立博物館総合調査を、本部町瀬底島において実施しました。短い期間ではありましたが、当館学芸員がそれぞれのテーマに基づいた興味深い調査を実施いたしました。その成果の集成が本報告書です。

瀬底島は沖縄島北部、本部半島の西海上約600mに浮かぶ小島ですが、1985年2月に瀬底大橋によって、対岸の浜崎とつながりました。島の面積が3.46 Km²、周囲は7.3km程になり、全域が隆起珊瑚礁性の石灰岩からなっています。しかしながら耕作可能な平坦地を利用して、基幹作物であるサトウキビやスイカを栽培しています。

集落は島の中央部に形成され、人口は1,047人になります。現在は字瀬底としてまとまっておりますが、近年まではシーク（瀬底）とイッチャファ（石嘉波）の二つの部落からなり、行政、祭祀、行事等すべて別々に執行されておりました。

今年の調査は、主として瀬底島の文献史料・植物・動物・民俗の各分野で実施されました。本報告書がこのような瀬底島の自然や歴史、民俗を理解する一助になれば幸いです。

最後に、今回の調査を実施するにあたり、本部町役場や瀬底島の皆さんに多大なご協力をいただきました。ここに深甚なる謝意を表します。

昭和63年3月

沖縄県立博物館

館長 大城宗清